



セカイト トピックス展示

渋沢栄一と世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」

「近代日本経済の父」と称される渋沢栄一は、現在、2021年NHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公として、また、新一万円札の顔として注目されています。その渋沢栄一が、実は群馬県にある世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」とも関わりがあったことをご存じでしょうか。

群馬県立世界遺産センター（セカイト）では、大河ドラマ放映を機に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の新たな魅力として、渋沢栄一と富岡製糸場、田島弥平旧宅のある島村地区との関わりについて、トピックス展示で紹介します。

1. 展示期間

令和3年1月30日（土）～令和3年5月30日（日）まで

※休館日 2月…毎週水曜日 3, 4, 5月…毎月最終水曜日

2. 展示内容

(1) パネル展示

渋沢栄一の生涯や「富岡製糸場と絹産業遺産群」との関わりについて3枚のパネルで解説します。

- ① 渋沢栄一とは
- ② 渋沢栄一と「富岡製糸場と絹産業遺産群」の関連人物
- ③ 渋沢栄一と「富岡製糸場と絹産業遺産群」との関わり

(2) 実物展示

渋沢栄一と田島弥平旧宅のある島村地区との深い関わりを示す資料を中心に展示します。

- ① 宮中御養蚕恩賜御扇子
・扇子が納められた木箱に渋沢栄一の自書があります。
- ② 田島武平宛渋沢栄一書簡
・田島武平や田島弥平が島村勸業会社を設立する際の定款作成についての書簡（原本）です。
- ③ 出がら繭の記
・晩年の渋沢栄一が田島武平の功績を記したもの（原本）です。